

第68期通常総会

生産性向上支援訓練の実施へ 補助金・税制事業の情報発信や説明会開催

近畿印刷産業機材協同組合(坂本進理 理事長)は6月8日、大阪・中央区のKKRホテル大阪において第68期通常総会を開催。議案すべて原案通り承認可決され、任期満了にともなう役員改選では、坂本理事長の再任が決議された。

同協組の新年度は、連携組織としての役割を果たすべく各種施策を実施。具体的には、組合員企業の生産性向上支援訓練の実施をはじめ、政府や大阪府などが実施する補助金・税制事業などに関する情報発信や説明会開催、また大阪印刷関連団体協議会加盟の業界他団体との連携を強化していく。新年度予算は1,691万6,000円。

総会終了後には、組合員企業でもあるアイマー・プランニング(株)取締役電気統括部長の山崎憲司郎氏が「最適化への印刷技術」と題して講演。また、軽減税率制度に関するセミナーも開催された。

引き続き催された懇親会の席で挨拶に立った坂本理事長は、中小企業における人手不足が深刻化していることに対し、技術投資による生産性向上に取り組んだ英国の事

例を紹介。「2016年6月にEU脱退を決めた英国では、その後、欧州大陸からの移民の出国が急増。1年間で12万人以上が英国を去った。結果、人手不足が深刻化しはじめ、それを人材教育や設備強化など、いわゆる技術投資による生産性向上で乗り切ろうとする動きが始まり、17年7月から9月の英国の労働生産性は、対前期比で1%近くも上昇した。まさに人手不足こそが、生産性向上のための投資を呼び込み、実質賃金の上昇の源である生産性向上をもたらした。ここに大きなビジネスチャンスがあるのではないか」と述べ、事業活動に挙げている生産性向上支援訓練の実施に理解と協力を求めた。

新役員(敬称略)

- ▷理事長…坂本進(坂本造機)
- ▷副理事長…廣瀬安宏(広瀬鉄工)/柳澤隆司(ベルパック)/木田庄一郎(木田鉄工所)
- ▷理事…上野耕治(ウエノ)/加貫泰弘(加



▲坂本理事長

貫ローラ製作所)/野々下進一(ジェピック)/増田孝浩(富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ)/塩見哲也(メディアテクノロジージャパン)/森澤武士(モリサワ)
▷監事…弓倉清(共同精機)/杉山紘司(丸楽紙業)



◀講師の山崎氏



▲「最適化への印刷技術」学ぶ

